

アンケート結果のご報告

～血液内科医の先生方へのアンケート～

CML患者さんの治療環境向上を目的としたプログラム実施のために、先生方と薬剤師の方々との現状の関係についてアンケートを実施しました。

◆アンケート実施主体

本アンケートはNPO法人キャンサーネットジャパンが、木村晋也教授（佐賀大学医学部内科学講座血液・呼吸器・腫瘍内科）監修のもと行いました。

◆アンケートの対象

CML患者さんを診察されている、もしくは診察されたことのある先生方（n=39）

◆アンケートの実施期間

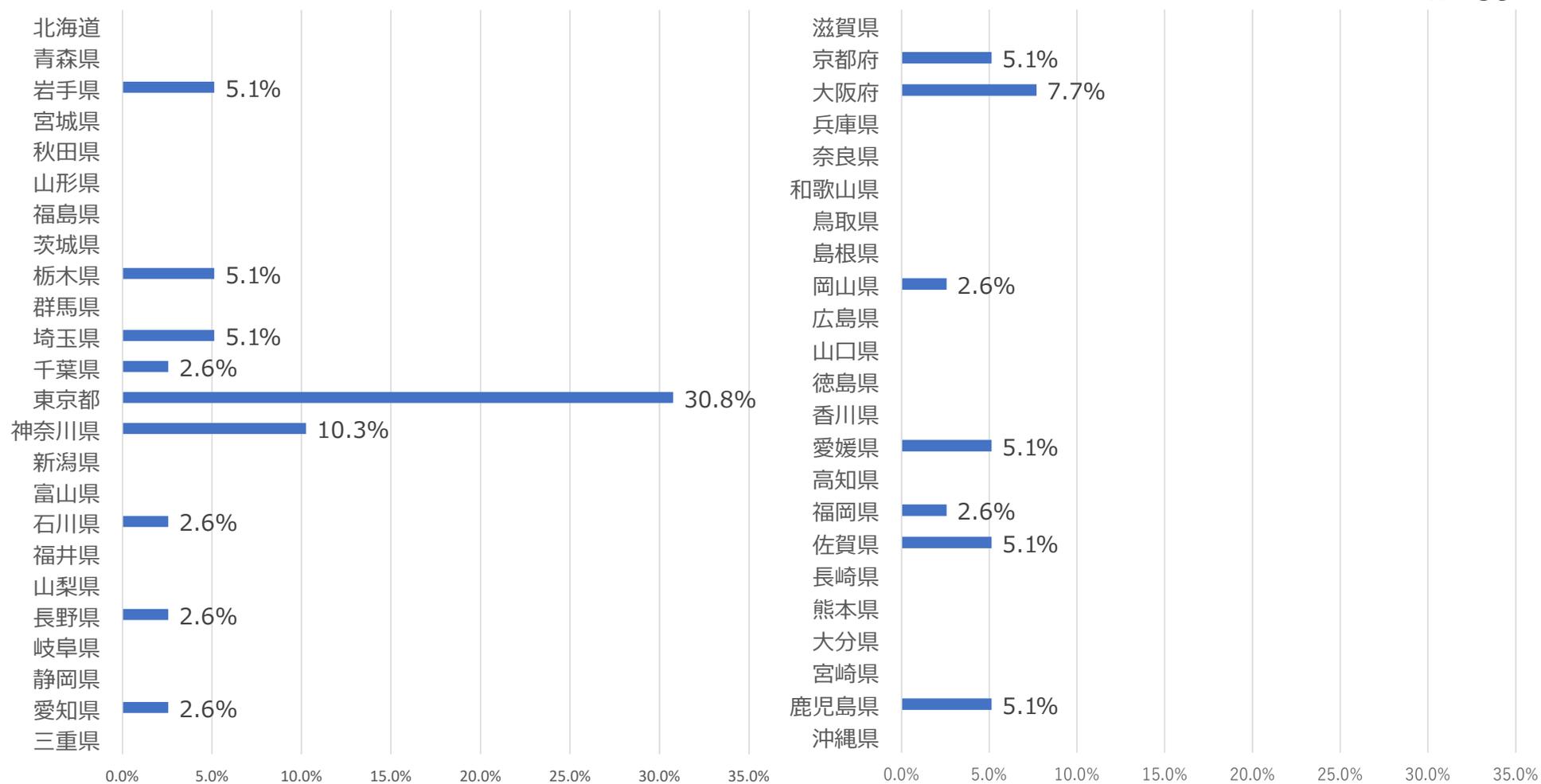
2022年3月3日（木）～3月17日（木）

※本アンケートは2022年2月25日付で佐賀大学臨床研究倫理審査の承認を得ています。

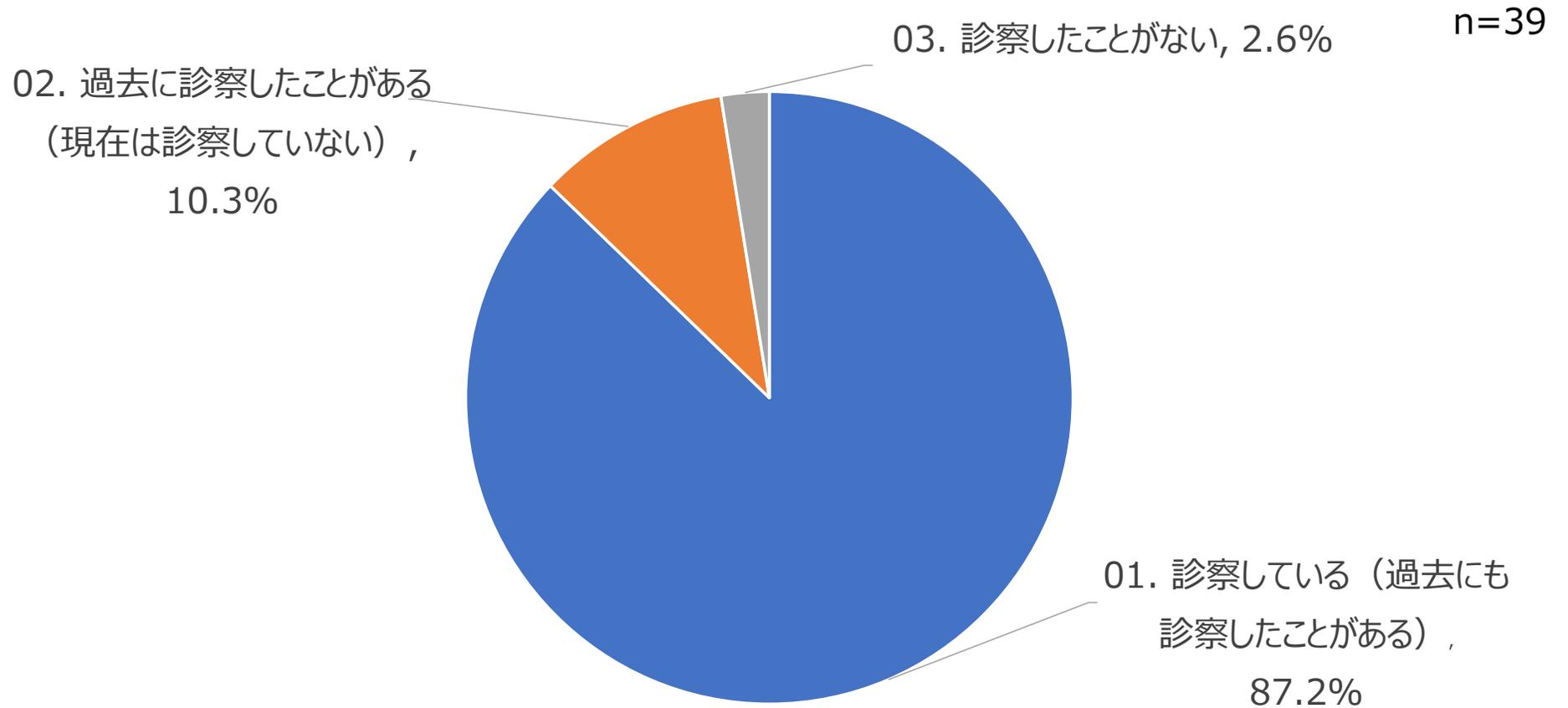
※本アンケートは、ファイザー株式会社「医学教育プロジェクト：慢性骨髄性白血病（CML）の治療環境向上」の助成金により実施されました。

1 お勤めの病院の地域

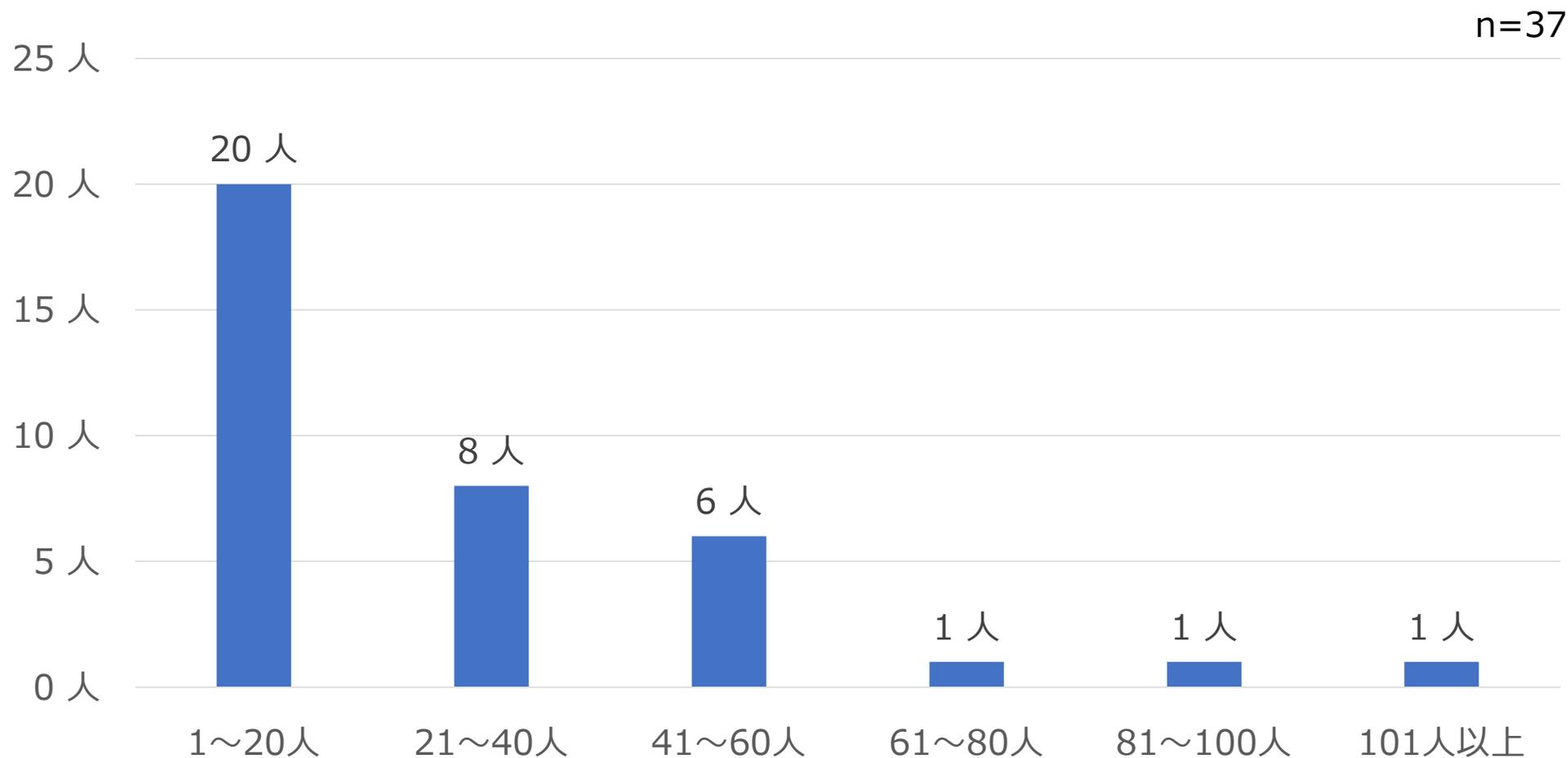
n=39



2-(1) 慢性骨髄性白血病（CML）の患者さんを診察していらっしゃいますか。
もしくは診察されたことがありますか。

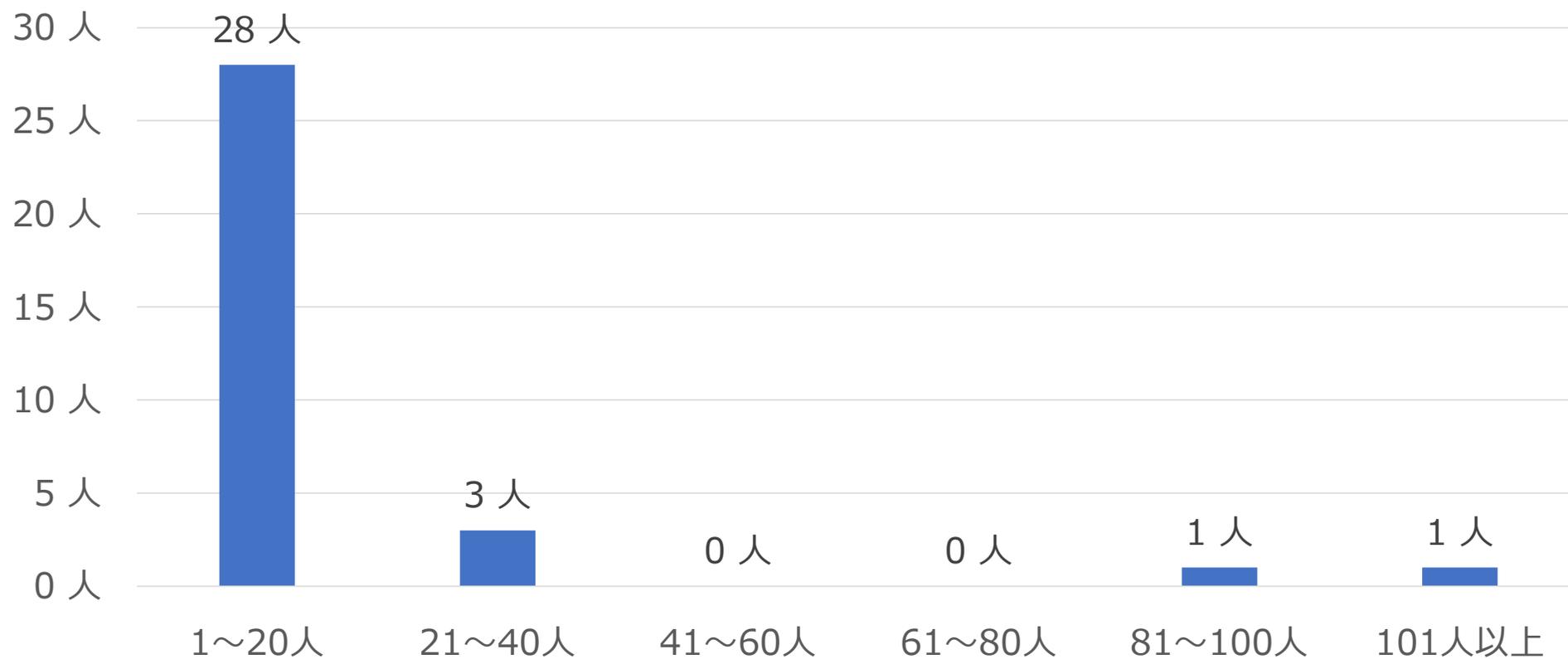


2-(2) これまでに(過去も含め)診察された患者さんのおよその人数を教えてください。

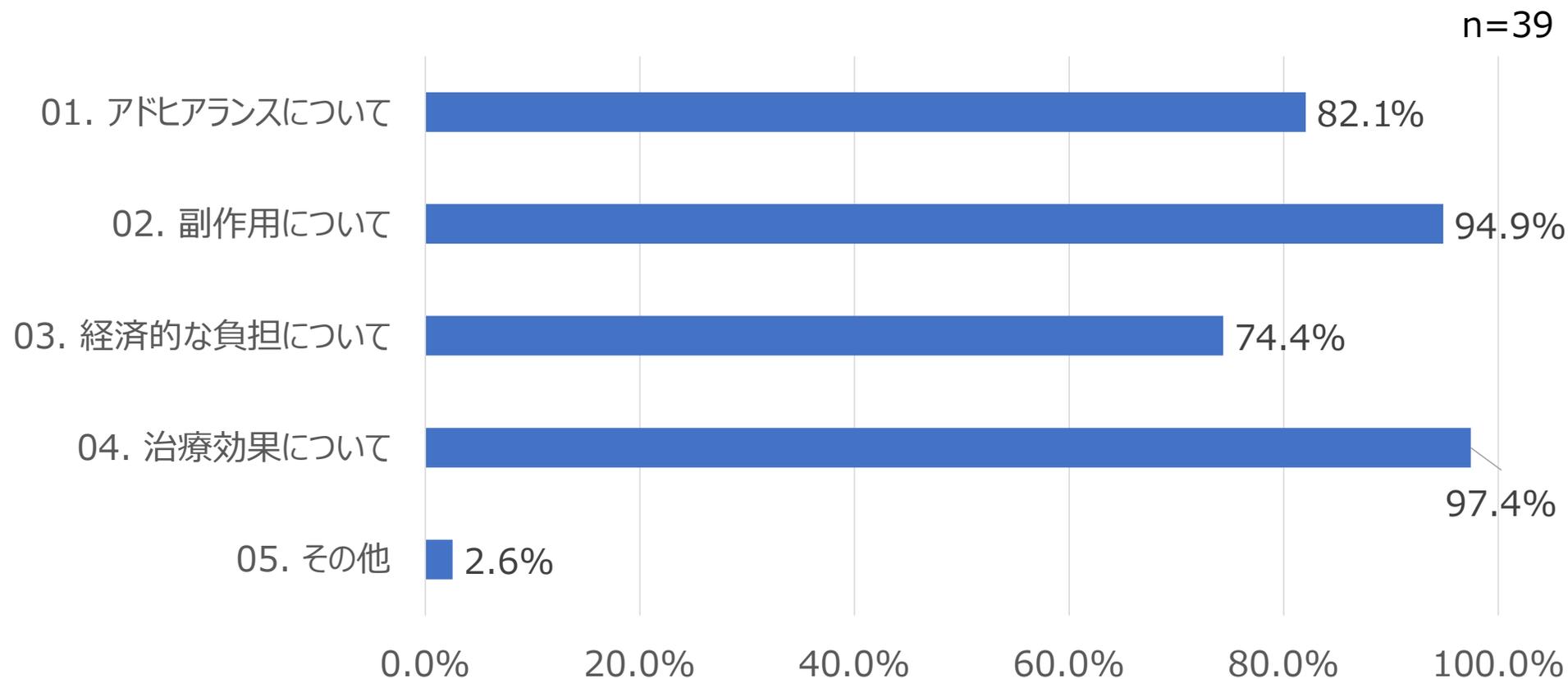


2-(3) 現在、診察されている患者さんのおよその人数を教えてください。

n=33



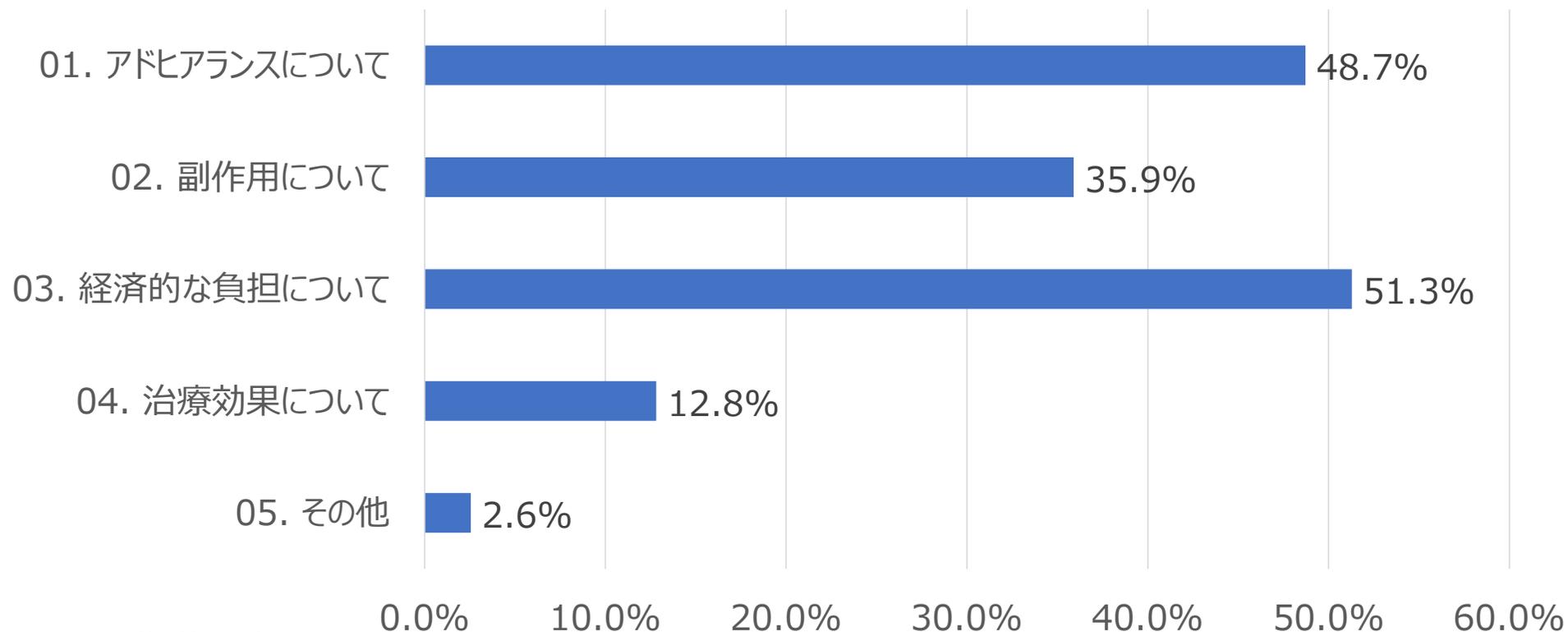
2-(4) CML患者さんにどのような服薬指導をされていますか。
もしくはされていましたか？（複数回答可）



2-(5) その他と答えた方：妊娠

2-(6) CML患者さんへの服薬指導で困ったことはありますか？（複数回答可）

n=39

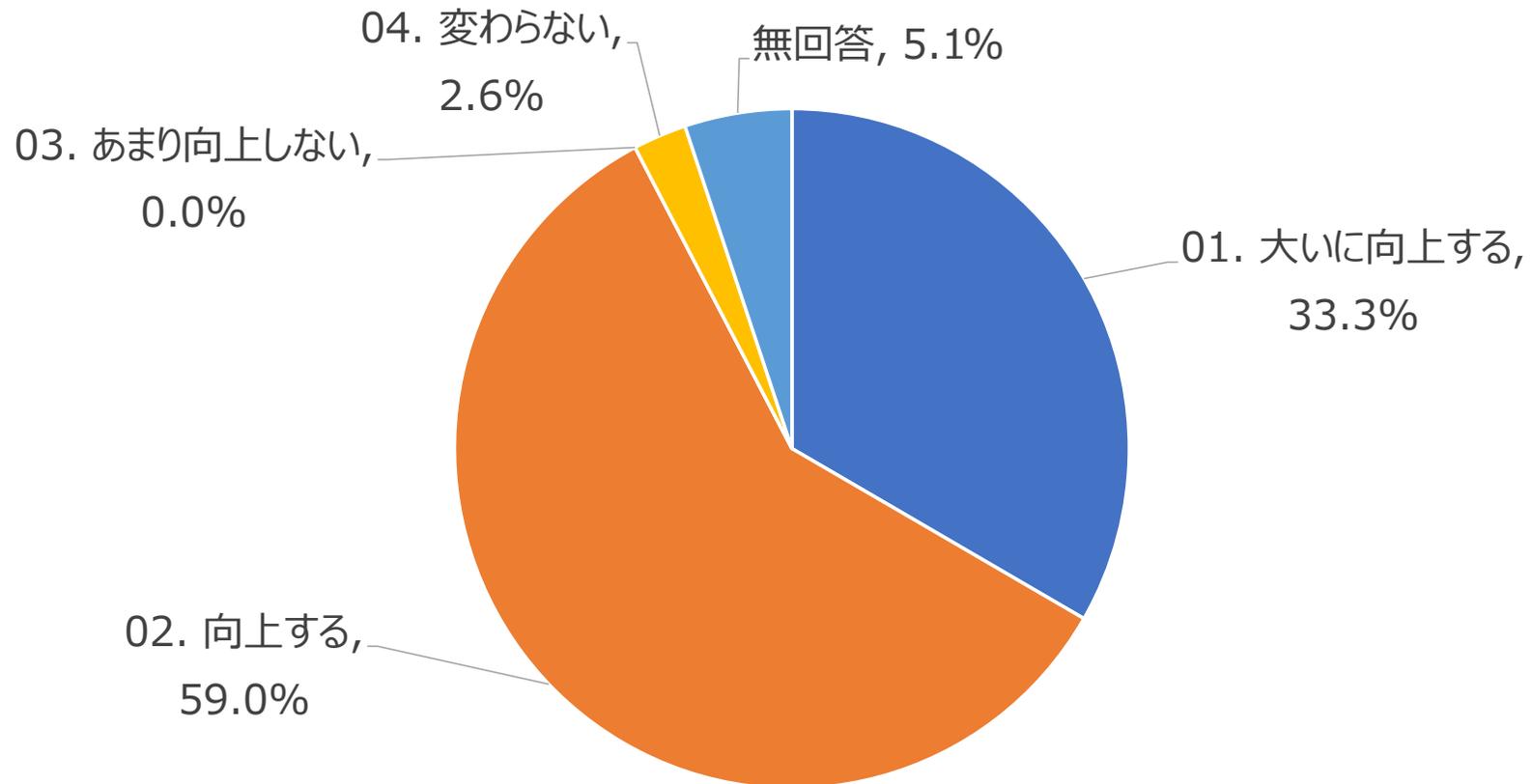


2-(7) その他と答えた方：

- ・いつも残薬があり、処方日数を減らすように言われる。
- ・困ったというより骨が折れたというべきですが、併用注意薬について、細かくチェックした上で分かりやすく説明するのは労力が要りました。

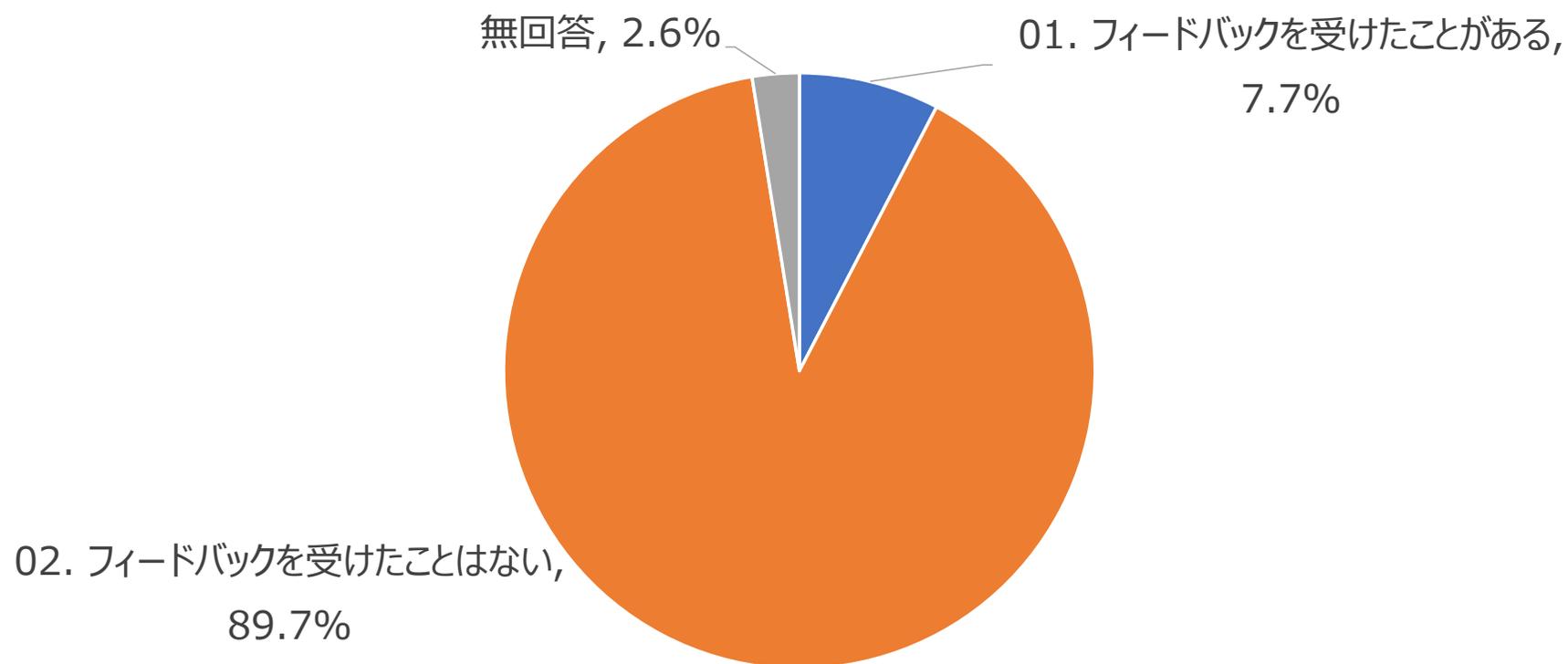
2-(8) 薬剤師さんからCML患者さんに適切な服薬指導が行われると、服薬アドヒアランスは向上すると思われますか？

n=39



2-(9) CML患者さんについて保険薬局からのフィードバックを受けたことはありますか？

n=39



3 保険薬局の薬剤師さんに期待したいこと、お願いしたことがあれば教えてください (その1)

n=39

- TKI について、もっと勉強して頂きたい。
- アドヒアランスの確認
- 有害事象の説明、アドヒアランスの重要性について
- 治療継続のモチベーションを上げるようなお話を患者さんにしていただきたい。
- 血液内科においても外来で抗がん剤（分子標的療法）を処方する機会が増えてきましたので、勉強会を含めたミーティングで情報共有ができればと思います。
- 病院で伝えていない訴えなどがあれば教えて頂ければと思います。
- 病院との連携を深めて欲しい。
- それぞれの患者の服薬に関する問題点などの情報を共有できると良い
- 外来中に疑義照会なる直電を入れない期待
- 定期服薬の重要性、副作用
- 胃腸症状出現時の対処方法などの指導
- 他院(かかりつけクリニックなど)で診療している薬剤との相互作用を含めた情報

3 保険薬局の薬剤師さんに期待したいこと、お願いしたことがあれば教えてください (その2)

n=39

- 内服の工夫
- 疑義照会以外でも、治療上重要と思われる情報を得た場合、報告してもらえたらと思います。
(それを簡便に行えるシステムの構築も必要だとは思いますが。)
- 副作用・内服の仕方（時間など）・併用薬剤の注意点
- 定期的な内服の必要性の説明とコンプライアンスの確認
- ドクターと、コミュニケーションを密にとれる関係になればと考えます
- ジェネリック医薬品に切り替える場合にTKIに関しては、診療科に許可を確実にとるべき。
- 相互作用
- 電話だとお互い気兼ねしてしまうと思うので、もっと率直に連絡を取れるような仕組みがあるとよいと思います。
- 保険薬局の薬剤師の方のご協力は、アドヒアランスの向上・維持に大きく貢献するものであると、大いに期待しています。
- アドヒアランスの向上